

1 幼稚園等送迎用車両への安全装置の導入支援 1435 万円。全額補助金で、国から 332 万 5 千円、東京都から 1102 万 5 千円が支出される予定の予算です。

2023 年 4 月 1 日から、園バスへの置き去り防止安全装置の整備が義務付けられたことにより、国・東京都の補助制度を活用して、市内の幼稚園や認可外保育施設に安全装置設置の経費を支援するものです。

Q1 安全装置の設置義務の対象はどのような施設・車両ですか？

Q2 今回の予算は、市内幼稚園 22 台分、認可外保育施設 19 台分とされていますが、該当車両はすべて含んでいるのかお伺いします。

Q3 補助額は 1 台あたり 35 万円となっています。国は 17 万 5 千円、認可外には 88000 円としていると思いますが、残りの額を東京都が補充していると考えていいですか。これで安全装置設置の全額をまかなえるのでしょうか。園の負担はないのか、お伺いします。

Q4 くるみ幼稚園、学童保育、放課後デイサービス、スポーツクラブなどで子どもたちの送迎バスを活用している施設があります。これらは設置義務の対象外であり、補助の対象外となるのでしょうか。

Q5 置き去り防止には、運転手や添乗員が車内に残って確認する時間が必要です。その時間を勤務時間として確保するための人員配置が必要です。職員の負担増に対する対応はなされるのか。

2 妊婦健康診査の支援の充実 2200 万 6 千円 全額都の補助制度を活用します。

超音波検査を 4 回に増やして助成するものです。現在の妊婦健康診査にかかる公費負担は 14 回分で、そこに上乗せするものです。

Q6 今までの健診と同様、妊娠届を出した際に受け取る受診票を、受診した際に医療機関に提出することで、公費負担分を差し引いての請求・支払いになるというシステムですね？

Q7 今回の公費負担分は 1 回いくらですか。利用者負担分はなくなるのでしょうか。

Q8 4 回分とされていますが、必要な回数が確保されたのでしょうか。

Q9 対象は、2023 年 4 月 1 日以降に妊娠届を出した方ですが、何人を想定していますか。

3 帯状疱疹ワクチンの一部公費負担の実施 5805万8千円。東京都3189万8千円、市の負担2616万円。

帯状疱疹発症予防のワクチン接種のため東京都の補助制度を活用し、50歳以上の方の接種費用の一部負担をするものです。

Q10 今回、生ワクチン4000円、不活化ワクチン10000円の助成となっていますが、接種者の負担は実際にいくらになるのでしょうか。

Q11 生ワクチンは「乾燥弱毒生水痘ワクチン」であり、もともと水痘のワクチンが、2016年に帯状疱疹ワクチンとしての効能が認められ、追加されたものですね。副反応はどのようなものがあり、被害報告は出ているのでしょうか

Q12 不活化ワクチンは、グラクソスミス社が2022年に開発した筋肉注射シングリックスで、2回接種になります。こちらの副反応についても同様に挙げられている症状と、被害報告についてお伺いします。

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業の継続 9億3689万6千円、全額国費負担です。

新型コロナワクチンについて、自己負担なしで実施する特例臨時接種の実施機関が2024年3月末まで延長したことに伴い、現行接種の継続と、新たな追加接種を実施するものです。

(1) 現行接種は、まず、未接種者が武漢株から作った、ファイザー社、モデルナ社のワクチン接種をする場合について伺います。生後6カ月以上の全年齢が対象であり、実施期間は来年2024年の3月31日までとされています。

Q13 従来型のコロナワクチンの接種ですが、接種対象者の条件は他にはないのですか。

Q14 実際の接種者は乳幼児を想定しているのか。何人の接種を想定していますか。

Q15 接種場所は、市内の医療機関での個別接種とされていますが、何カ所の医療機関が対応するのか。乳幼児、子ども、成人、それぞれの対応箇所数をお伺いします。

Q16 接種券の入手や予約の方法について、どのようになるのか、その周知はどのように行うのか、お伺いします。

次に、現行接種のうち、オミクロン株対応2価ワクチンの1回目接種について、伺います。

Q17 昨年秋から接種開始したもので、その際の対象者が対象、すなわち、初回(1

回目2回目)接種が終了した人が対象ですか。

Q18 なぜオミクロン株2価ワクチンのみの接種は認められないのでしょうか。

Q19 12歳以上は元気創造プラザでの集団接種会場を継続しますが、現在の開設状況と、利用状況はどのようになっていますか。

Q20 個別接種は、初回接種と同じ医療機関で可能ですか。

(2) 新たな追加接種は、現在追加接種しているオミクロン株対応2価ワクチンの接種と、秋以降の今後国が検討するワクチン接種とがあります。

Q21 5月8日～8月31日に実施されるオミクロン株対応2価ワクチンの接種対象者は、初回接種した65歳以上です。何人を想定していますか。

Q22 昨年秋から4月までにオミクロン株対応2価ワクチンを接種した方も対象となりますか。

Q23 接種券を65歳以上の新規対象者に送付するとしていますが、新規対象者とはどういう人ですか。

Q24 2023年2月までに集団接種会場で、旧来型のワクチン接種をした方には、日時・会場・接種ワクチンを指定するとしています。この方々は予約の必要はなく、指定日時に指定会場に行けばいいのですか。

Q25 この間、同様の方法で指定した日時・会場での集団接種を実施してきていますが、指定した日時・会場での実施率はどの程度ですか。混乱はないのですか。

秋以降の追加接種について伺います。

Q26 ワクチンは国において今後検討とされていますが、どのようなワクチンになるのでしょうか。現在開発中のワクチンを活用することになるのでしょうか。

Q27 コロナウィルス感染症の流行が収束すれば、ワクチン接種の必要性はないと考えますが、それでもワクチン接種を推奨するのでしょうか。

ワクチン副反応被害の現状について伺います

Q28 現在、国に報告されているワクチン副反応被害の報告は何人で、うち重症、死亡は何人ですか。

Q29 現在三鷹市内における副反応被害報告は何人で、うち重症者、死亡は何人ですか。

Q30 現在、三鷹市に対して健康被害救済制度の申請をしている人は何人で、うち国に申請し、救済制度が認められた人は何人ですか。

Q31 副反応被害の相談そのものが、市の保健センターというに寄せられています

か。対応はどのようにしていますか。